

2019年9月5日

株式会社三菱 UFJ 銀行

## 国際協力機構（JICA）が発行する「TICAD 債」への投資について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>みけ かねつぐ</sup> 三毛 兼承、以下 当行）は、本日、独立行政法人国際協力機構（Japan International Cooperation Agency、以下 JICA）が発行する、アフリカ諸国の社会開発のための機関投資家向けのソーシャルボンド「TICAD 債」への投資を決定いたしました。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資する事業（ソーシャルプロジェクト）の資金を調達することを目的として発行される債券で、ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の対象となります。その中でも、JICAが定期的に発行している国際協力機構債券（以下 JICA債）は、独立した第三者機関である株式会社日本総合研究所（JRI）に、国際資本市場協会（International Capital Market Association、ICMA）が定義するソーシャルボンド原則に適合していると認められております。

TICAD債は、2019年8月末に開催された第7回アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development 7、TICAD7）に合わせて発行された債券です。本債券の発行により調達された資金は、JICAの実施するアフリカ向けの大規模インフラ整備事業、貧困削減や人材育成を目的としたプロジェクトなど、社会的課題を解決するための有償資金協力事業に全額活用される予定です。

当行は、TICAD 債への投資を通じてアフリカ向けの有償資金協力事業を促進すると同時に、責任ある機関投資家として、持続可能な開発目標（SDGs）<sup>[1]</sup>の達成にも貢献してまいります。

### 【TICAD 債の概要】

銘柄	第 50 回国際協力機構債券（TICAD 債）
年限	10 年
発行日	2019 年 9 月 20 日

<sup>[1]</sup> 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットから構成されています。

以 上